



▲多久翁さんも参加。女山大根まつりで調理やおもてなしをしてくれたみなさんと一緒に

JAさかの織田博吉組合長は、「さがびより、さが美人に次ぐ、JAさかのブランド品になるように呼びかけをしたい」と激励。福岡県から参加したご夫婦は、「歯ごたえが良くて、手間をかけて作ってあるので、なんでもおいしい」と旬の女山大根に満足されていました。

一日かぎりの手づくりレストラン

女山大根まつり

伝統野菜“女山大根”で地域づくりに取り組んでいる西多久を考える会（飯守康洋会長）主催の『第6回女山大根まつり』が2月5日、西多久公民館で行われました。地元のふるさと情報館「幡船の里」と町内の女性のみなさんが調理した、「天ぷら」、「かけあい」、「ギョーザ」、「ゼリー」、「ばら寿し」などの女山大根メニュー16種や女山大根で作ったアイスを県内外の参加者60人が味わいました。

税金の役割や大切さ学ぶ

緑が丘小で租税教室

多久市は税務署、県税事務所と連携し、次代を担う児童・生徒に、「税の役割や大切さを学ぶ」租税教室を、市内全小学校、東部中、多久高で開きました。

1月27日緑が丘小であった租税教室は、6年生46人が講師の佐賀県税事務所の寺田さんから学びました。「みんなが良く知っている消費税は何に使われているのか?」、「税金がなくなったらどうなるか?」などを、DVDを見て学習。税金がなくなった時どんな世界になるかを見て、税金が安全を守るためや健康や生活、平等な教育を受けることに使われていることを勉強しました。最初は税金に反対がほとんどでしたが、学習後は全員が賛成するほど、税金の大切さを実感していました。



▲緑が丘小での租税教室

『ここはふるさと旅するラジオ』 多久から公開生放送!

NHKラジオ第一『ここはふるさと旅するラジオ』の公開生放送が中央公民館で行われました。この番組は地域の「やる気・元気・本気」を全国に発信しているラジオ番組で、今回は多久の魅力をPRしました。旅するアナウンサー島田政男アナ、ふるさとサポーター佐賀局早坂隆信アナの司会で、「多久ミュージカルカンパニー」のキャストが、3月の公演「いのちのおはなし」を紹介。女山大根や多久聖廟の紹介も行いました。



2/7

日頃の練習の成果を 披露!すこやか長寿祭

多久市老人クラブ連合会（木下勝義会長）主催の第24回多久市すこやか長寿祭が、中央公民館で行われました。各町や老人施設から約350人が参加し、24組が唄や踊りの練習の成果を披露。全体合唱では、好齢大学院の生徒とともに、会場全体で『どこかで春が』、『ふるさと』を合唱。午後には佐賀県警による交通安全、詐欺、防犯について寸劇を交えた講演、県警察音楽隊による演奏が披露され、来場者が懐かしい軍歌や演歌を口ずさむ姿もみられました。



2/3